

高校生 ICT 2015 Conference

in 東京

言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！

～ 高校生のボクたちだから ～

開催報告書

2015年10月11日（日）10:30-17:00

【会場】東京 ユビキタス協創広場 CANVAS（内田洋行）

主催

高校生 ICT Conference 実行委員会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省



2015年10月21日

第1.0版

1. 開催概要	1
2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催	3
3. 高校生 ICT Conference 2015 in 東京 開催概要	4
4. 主担当	8
5. 高校生 ICT Conference 2015 サミット	8
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会	8
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応	9

1. 開催概要

名 称：	<p>高校生 ICT Conference 2015</p> <p>テーマ</p> <p>言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！</p> <p>～ 高校生のボクたちだから ～</p> <p>第1部「大人のルール&マナー」</p> <p>第2部「大人が作った子どものルール&マナーを考える」</p>
主催：	<ul style="list-style-type: none"> ● 高校生 ICT Conference 実行委員会 (構成：安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会) ● 長野教育委員会 (長野のみ) ● 福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会 (福岡のみ) ● 公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所 (大分のみ) ● 特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム (神奈川のみ)
共催：	<p>内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、帝塚山大学 (奈良のみ)、</p> <p>大分県教育委員会、大分県高等学校 PTA 連合会 (大分のみ)、</p> <p>神奈川県教育委員会 (神奈川のみ)</p>
後援予定：	<p>一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、北海道、北海道教育委員会、北海道高等学校 PTA 連合会、北海道青少年有害情報対策実行委員会、大阪府高等学校情報教育研究会、東京都高等学校情報教育研究会、奈良県、奈良県情報教育研究会、奈良県教育委員会、福岡県公立高等学校長協会、福岡県私学協会、福岡県公立高等学校 P T A 連合会、石川県、石川県教育委員会、石川県高等学校長協会、石川県高等学校 PTA 連合会、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会、北陸携帯電話販売店協会</p>
協賛：	<p>株式会社サイバーエージェント、グーグル株式会社、株式会社ディー・エヌ・エー、グリー株式会社、LINE 株式会社、株式会社ラック、株式会社メディア開発綜研</p>
協力：	<p>アルプス システム インテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、一般社団法人情報教育研究所、デジタルアーツ株式会社、株式会社ミクシィ (順不同)</p>
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。</p>

	<p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p> <p>2015年度は、より全国的な規模での展開に向けて開催地域を拡大、新たに石川、長野、神奈川、福岡を加え開催します。</p> <p>さらに当事者たる高校生の意見を中央に届けるべく、各地域の代表者はサミットにより提言をまとめ、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省で発表を予定しています。</p> <p>※平成21年4月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成23年度の小学校を皮切りに、平成24年は中学校、平成25年度は高等学校で全面実施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しいICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全にICTを利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
開催の概要：	<p>【各開催地での内容】※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>・第一部 「大人のルール&マナー」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議イントロダクション (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評</p> <p>・第二部 「大人が作った子どものルール&マナーを考える」 (1) 挨拶 (2) 講演 (3) 熟議 (4) グループ発表 (4) 総評 (5) サミット参加者発表</p> <p>【サミット】「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！ ～ 高校生のボクたちだから ～」 (1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】 内閣府「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」 総務省、文部科学省、経済産業省にて成果・提言報告及び意見交換</p>
各開催地募集人員等：	<p>募集参加生徒 30名 募集見学者各回 30名（各開催地により変動あり）</p>

参加・参観方法：	参加費・参観無料 [要事前登録]
高校生 ICT Conference 2015 実行委員会：	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 米田 謙三 (大阪私学教育情報化研究会 副会長) <p>【コアメンバー】</p> <ul style="list-style-type: none"> 齋藤 長行 (青山学院大学 株式会社 KDDI 研究所) 猪股 富美子 (お茶の水女子大学 人間発達科学研究所) 石田 幸枝 (公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会代表・消費者団体訴訟室長) 植田 威 (特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事) 小城 英子 (聖心女子大学) 他、関係者団体、事業者等 <p>【事務局】</p> <p>安心ネットづくり促進協議会 〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 齋藤ビル 2 階 TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180</p>

2. 高校生 ICT Conference 2015 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生が 2 つのテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	第 1 回	第 2 回	会場
地域開催	北海道	2015 年 9 月 27 日 (日)	2015 年 10 月 18 日 (日)	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	石川	2015 年 9 月 13 日 (日)	—	金沢商工会議所
	長野	2015 年 9 月 5 日 (土)	2015 年 10 月 3 日 (土)	松本駅前会館
	東京	2015 年 10 月 11 日 (日)	—	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2015 年 10 月 4 日 (日)	—	岩崎学園
	大阪	2015 年 7 月 25 日 (土)	2015 年 9 月 20 日 (日)	① 内田洋行 ②大阪私学会館
	奈良	2015 年 7 月 26 日 (日)	—	帝塚山大学 東生駒キャンパス
	福岡	2015 年 9 月 12 日 (土)	—	ガスホール
	大分	2015 年 8 月 29 日 (土)	—	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ
サミット		2015 年 11 月 3 日 13:30~17:00		東京ユビキタス協創広場 CANVAS
最終報告会		2015 年 12 月中旬頃		

3. 高校生 ICT Conference 2015 in 東京 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 77 名の参加者を得て、「大人が作った子どものルール&マナーを考える」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】 司会進行・主旨説明 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 清水 将人 様 高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを簡単に説明していただきました。</p> <p>開会の挨拶 文部科学省生涯学習政策局青少年教育課 課長 泉 潤一 様 高校生 ICT Conference や高校生の意見への期待、大会後の取り組みなどについてお話をいただきました。</p> <p>第一部：「事業者講演」 『大人のルール&マナー』 グリー株式会社 安心安全チームマネージャー 小木曾 健 様 歩きスマホやスマホ依存を例に出して、偏った情報に基づいたルール作りは失敗するということをお話しいただきました。その上で、ルール作りの意義や弊害との関係をスマホと睡眠時間や健康と絡めて問題を提言してくださいました。</p> <p>『アカウントについて』 株式会社サイバーエージェント カスタマーサポート室 室長 中村 広毅 様 アカウントについて、サイバーエージェントのサービスと絡めながらお話ししてくださいました。その上で、アカウントにまつわる事件として不正アクセスに関する事例や Ameba 内で起きている具体的な問題の紹介があり、アカウントの重要性について説明していただきました。</p> <p>事業者講演の後、学校ごとに、発声練習も兼ねて自己紹介をしていただきました。 (順不同)</p> <ul style="list-style-type: none">・文京学院大学女子高等学校・自由学園男子部高等科・水戸葵陵高等学校・栃木県立宇都宮北高等学校・水城高等学校 <p>自己紹介の後に高校生は 4 つのグループに分かれ、その後、ファシリテーター、書記、記録、参観者の紹介、事務連絡がありました。</p>
----	--

第二部：熟議「大人が作った子どものルール&マナーを考える」

まず、高校生 ICT Conference について今一度、実行委員会委員長の米田謙三先生から説明をいただきました。その上で、「熟議」のポイントやグループディスカッションの進め方、ルールについての考え方、発表などについて解説していただきました。その後、それぞれのグループで熟議を進めました。

第三部：グループ発表

各グループともプレゼンテーションソフトを活用して4分程度の発表を行いました。各グループの発表タイトルと発表概要は以下の通りです。

グループ 1：

「大人の理解とスマホの使い方」～身近な大人に理解してもらうには～

- ・〇〇が作った子どものルール&マナー 大人、友達同士、学校、家庭
- ・大人は偏見が多すぎる→影響の大小を想定できない、スマホを使いすぎると勉強しない
- ・高校生自身が小・中・高校生と保護者に向けて、講義する!
- ・大人も子どもも自分自身を見直して、お互いが理解する努力をすること!

グループ 2：

「大人とつくる僕らのルール」

- ・大人が作った子どものルール&マナーを考える 大人も守っていないのに単なる自己満足?
- ・社会の枠では大きすぎる→身近な学校の例で 禁止例と使用例
- ・学校でのスマホの使用は…賛成
- ・みんなで話し合っただけ決めたルールを守る 自己判断の能力
→お互いの意見を共有でき、子どもの意見も取り入れられる 守る人も多くなるのでは?

グループ 3：

「スマホとマナーとわたしたち」～被害者と同じ立場に…～

- ・マナーを守って使いましょう ながらスマホしない、誹謗・中傷しない
- ・なぜ守らないのか
→周りへの迷惑を無自覚、結果を考えない、話を聞いてくれる人がいない
- ・どうすれば守ってくれる?
→目に見える形で体感させる→被害者の体験談、ドッキリ体験、CMやドラマ…
過激さ最悪の結果を考えることで、ルールに興味・関心を持ってもらう

グループ 4：

「大人 VS 子供～SNS 編～」

- ・大人が作った子どものルール&マナーについて考えよう 結局破ってしまうので

	<p>は?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑問に思うルールの例 ○時以降スマホ禁止、中学校のルールで LINE が禁止になるなど ・<u>大人が作った子どものルール&マナー</u>について考えよう ・大人：ネット、SNS 等の知識が子どもより少なく偏った人 →その大人たちが今のルールを作っている→子ども：納得しない ・<u>みんなで作ったルール&マナー</u>について考えよう 例)講習会、大人と子供で話し合う →大人と子供が納得できるルールになる! <p>その後、11月3日に開催されるサミットの代表選考を行ない、栃木県立宇都宮北高等学校が代表校に選出され、発表されました。</p> <p>全体講評 一般社団法人・情報教育研究所 代表理事 永坂 武城 様</p> <p>今年度、全国の高校生 ICT Conference を回っており、各地それぞれに特色がみられるが、各グループの熟議、発表について以下のコメントをいただきました。</p> <p>グループ 1：未来に仮説を立てて議論していた。ルールへの裏メッセージを理解して、気づきを感じていた。</p> <p>グループ 2：自主的に進められていた。会話の中から方向性を見つけていた。</p> <p>グループ 3：他者の価値観を尊重して議論されていた。矛盾から答えを探っていた。</p> <p>グループ 4：自分の意見を持っていて、本当の必要性・目的を探っていた。</p> <p>総合的な印象：話し合いレベルを超えて熟議がされており、自己責任の範囲も考えられていた。</p> <p>また、ルール&マナーについて、ルール&マナーの目的や、状況や環境によって臨機応変に対応が必要となり答えは1つではないということ、常識の変化により守るべきもの変えるべきものがある、その判断基準をどうしたらよいかということ、『思い込み(偏見?)』に関する注意点、自制心を高めるために優先順位をつけて必要なこととやりたいことを分け、計画を立ててやるべきことリストも作成してほしいといったお話をいただき、高校生が今後考えていってほしいこと、実践して欲しいことについての貴重なお言葉をいただきました。</p>
参加校：	自由学園男子部高等科、文京学院大学女子高等学校、栃木県立宇都宮北高等学校、水戸葵陵高等学校、水城高等学校
日 時：	2015年10月11日(日) 10:30-17:00
場 所：	東京ユビキタス協創広場 CANVAS (内田洋行) 東京都中央区新川 2-4-7
参加人数：	熟議参加生徒 18人 見学者 59人(教員・教育関係者・その他) 合計： 77人
熟議グループ：	熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略) 【第1班】5人

水戸葵陵高等学校 2年 男子
栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子
栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子
文京学院大学女子高等学校 2年 女子
水城高等学校 1年 女子
〔ファシリテーター〕
一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 菅野 泰彦
〔書記〕
中央大学 倉澤 光治

【第2班】5人

自由学園男子部高等科 2年 男子
水戸葵陵高等学校 1年 男子
栃木県立宇都宮北高等学校 2年 男子
栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子
〔ファシリテーター〕
お茶の水女子大学 猪股 富美子
〔書記〕
目白大学 増村 千穂

【第3班】5人

水城高等学校 1年 女子
自由学園男子部高等科 2年 男子
水戸葵陵高等学校 2年 男子
栃木県立宇都宮北高等学校 2年 男子
栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子
〔ファシリテーター〕
鎌倉女学院高等学校 佐藤 正二
〔書記〕
目白大学 清水 諒子

【第4班】4人

水戸葵陵高等学校 2年 男子
自由学園男子部高等科 2年 男子
栃木県立宇都宮北高等学校 2年 女子
水城高等学校 1年 女子
〔ファシリテーター〕
一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 野沢 健太郎
〔書記〕
目白大学 阿部 壮一

主担当

大阪私学教育情報化研究会	米田	司会進行
安心ネットづくり促進協議会	白戸 他	事務局、庶務
草の根サイバーセキュリティ運動 全国連絡会	吉岡、工藤	庶務、受付
一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構	清水、野沢、河田、 佐々木	
各地協力団体、事業者等		挨拶、講演、ファシリテーター、書記 他
内田洋行	佐藤、眞鍋	会場設営、機材準備等

(敬称略)

(開催後の予定)

4. 高校生 ICT Conference 2015 サミット

高校生 ICT Conference 2015 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

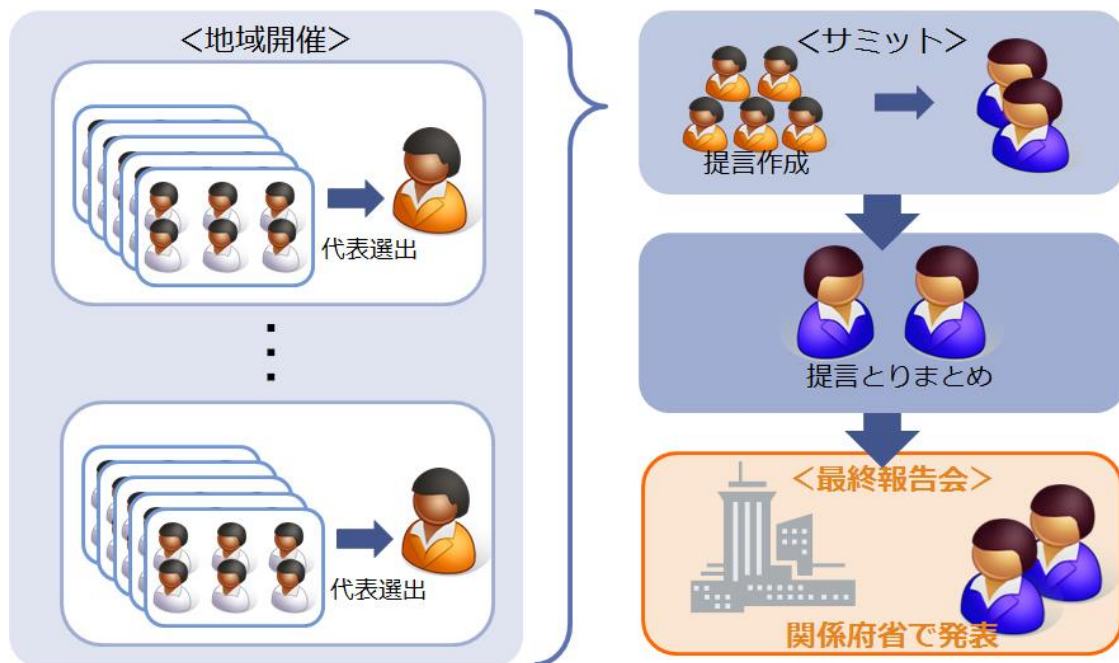
- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 終了後、各校の引率教職員と参加校代表生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表 2 名を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

5. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2015 サミットで検討された提言を、選出された代表者 2 名が報告用にとりまとめを行い、関係府省にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。

【報告先予定府省】

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省



6. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表の画面の撮影（又は画像保存）
- 2) Conference 終了後、発表の画像と併せて高校生 ICT Conference 2015 のサイトにアップデート
- 3) 終了後、講評と併せて、各会場責任者にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2015 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 5) 高校生 ICT Conference 2015 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 6) 最終報告会での発表